

こたえ 三びきのやぎ

ひょうじゅん
標準 ②

三びきのやぎ

(ノルウェーのむかし話)

山の上の草を食べに行こうと、大中小の三びきのやぎが、はしをわたることにしました。はしの下には、おそろしいかいぶつがすんでいます。

はじめに、小さいやぎがわたりました。

かいぶつが「食べてやるぞ。」ときけぶと、小さいやぎは言いました。

「ぼくは小さいから、あとから来る大きなやぎを食べるといいよ。」

つぎに、中くらいのやぎも、同じように言って、とおりぬけました。

さいごに、大きいやぎがわたりました。大きいやぎは、つのでかいぶつをつきとばし、川におとししてしまいました。

1 やぎたちは、何を食べに行こうとしましたか。

山の上の

草

2 はしの下には、何がすんでいましたか。

か
い
ぶ
つ

3 小さいやぎが、食べられずにすんだのは、どうしてですか。

あとから来る大きなやぎを食べるといいと言ったから。

4 大きいやぎは、かいぶつをどうしましたか。

ア にげだした。

イ つのでつきとばした。

ウ ともだちになった。